

ホツとな交流

岩日タイムズ

発行者

岩瀬 日本大学
高等学校

築 真優子

本校吹奏楽部が初出店

しもだて商工まつり

11月24日、25日の2日間、下館旧庁舎前広場で「しもだて商工まつり2018」が開催されました。筑西市やその周辺自治体の高校生が模擬店を開く「高校生ビ

ジネスチャレンジ」というボランティア活動があり、本校からは吹奏楽部が初めて出店しました。

桜川市の桜をイメージした綿あめや、名産の小麦粉「ユメシ



吹奏楽部とチア部のコラボでステージを盛り上げた

「高校生ビジネスチャレンジ」に参加した感想を、部長の飯泉沙也香さん（2年）にインタビューをしました。

Q 「参加するきっかけは？」

A 「顧問の柴先生が資料を持ってきてくれて、参加してみよう、と誘われました。今まで商品を作ったことがなかったからやってみたいと思いました。」

ホウ」で作ったカスタラ、部員で製作したブルーベリージャムなど、桜川市の魅力がたつぷり詰まった食品を販売しました。販売ブースの隣では、桜川市産の石粉粘土を使った実演ブースがあり、子ども達に大人気でした。

24日にはチアリーダーや軽音楽愛好会とともにステージ発表を披露しました。「YMCA」を始めとした幅広い世代に親しまれている曲を演奏し、会場を盛り上げました。

Q 「ボランティアに参加して得られたものは？」

A 「人が考えていることを先読みして、されたら嬉しいことを行うことを心がけています。」

Q 「模擬店やステージで多くの人と触れ

Q 「ステージで演奏する時に心がけていることは？」

A 「吹奏楽部では、支えてくださっている方々に感謝するという目標があり、音楽を通して、聴いている皆さんに感動や笑顔を与えることを心がけています。」

Q 「ボランティアに参加して得られたものは？」

A 「人が考えていることを先読みして、されたら嬉しいことを行うことを心がけています。」



石粉粘土体験は子どもたちで賑わう

1月からは自由登校になり、3月には卒業を迎えます。新聞部の活動で学んだ多くの経験を活かし、卒業後も新聞に携わっていきたくと考えています。（築）



吹奏楽部の販売ブース

合って、交流はあったか？」

A 「岩日の卒業生が、がんばってね、と応援してくれました。また、模擬店の頑張りを見て買ってくださる方がいて嬉しかったです。」

Q 「今後の目標は？」

A 「柴先生が一人ひとりの夢につながるボランティアを探して申し込んでくれますが、今後は先生に任せてばかりでなく、私たち部員で見つけて行動したいと思いました。」

編集後記

吹奏楽部は桜川市や筑西市などのボランティアに積極的に参加していて、演奏や地域の人々との交流を通して、岩日の良さを発信しています。今回、部員の皆さんの接客がとても温かくて、笑顔が溢れていました。

私事ですが、第一志望校に合格し、久しぶりに取材を行いました。入部してから様々な方々に取材してきましたが、思い通りにいくこともあれば、壁にぶつかることもありました。3ヶ月ぶりの取材ということで衰えていないか不安でしたが、いざ取材を進めると過去の経験を活かし、より良い取材を行うことができました。